



Voice **福元 信一** さん
(串良町有里)

平成 25 年に海上自衛隊を定年退職。以後、父親の牛舎で畜産業を営む。
令和4年度にツーリズム事業推進部に入会。初年度はコロナ禍により 2 件の受け入れに留まるも、今後の受け入れを楽しみに待っている。



- 受け入れを始めようと思ったきっかけは？
妻からの「やってみよう」という提案で昨年受け入れを始めました。転勤族だったため色々な土地に住んできましたが、生活して初めてその土地のにおいや空気感が分かります。子どもたちにも都会とは異なる鹿屋の環境で様々な経験をしてもらいたいです。
- 受け入れを始めたことでの変化は？
子どもたちに順序立てて説明する機会もあり、仕事をしていた頃に戻った感じがあります。また、妻は鹿屋の良いところを探す勉強に取り組んでいます。
- 今後の目標は？
子どもたちと接することで、新たに体験させたいことなど我々の向上心も増えています。地域が元気になるためにも、自分たちの住んでいる地域の良さを再発見していきたいです。

受け入れたい気持ちがあれば誰でもできます。教育旅行生の大半を占める都市圏の学生にとって、田舎の暮らしや土地・風景そのものが魅力の塊。そんな学生へ田舎の素晴らしさを伝えたい、教育旅行の受け入れに興味があるという人も多いかもしれません。しかし、「畑がないから農業体験ができない」「学生の送迎が不安」などの理由で受け入れを断念している人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

例えば宿泊だけ受入可能という方には、「体験メニューだけ別で用意して対応する」というように、サポートしながら進めています。また、これまで受入経験がなくても、救命講習などの安全講習や料理講習・食品衛生管理などの色々な講習を受けることで誰でも受け入れができるようになります。

Voice **鹿屋市観光協会**
ツーリズム事業推進部長
民宿しろみず(白水町)
ましろみず まさこ
本白水 正子 さん



看護師として病院で働いていた私は、修学旅行の添乗看護師も行っていました。そのため、行く先々で現地のお年寄りの方が生き生きと働く姿を羨ましく思ってきました。
教育旅行の受け入れに携わって10年以上になります。都会の子どもたちを見てみると遊びや生活も異なり、星や野鳥を見るなどの普段私たちが何気なくしていることでも新鮮に感じられるように、受け入れを行うたびに私自身にも新たな発見と喜びがあります。



心に残る田舎体験を提供してみませんか

教育旅行のススメ

本市では都市圏からの修学旅行生等が、豊かな自然や数多く残る戦争遺跡等に触れる教育旅行を推進し、その受入家庭の募集を進めています。受入家庭それぞれが提供する普段の田舎暮らしそのものが、都会暮らしの人にとっての特別な時間。皆さんも教育旅行の受け入れを始めてみませんか。
市ふるさとPR課 ☎0994-31-1121

教育旅行 Q&A

- Q) 受入経験がないのですが大丈夫ですか？
A) 受入前の説明会や先輩家庭のサポートがありますので大丈夫です。「受け入れだから」として特に気張らなくてもOKです。
- Q) 仕事をしながら受け入れは可能ですか？
A) 体験学習を別で準備するなどして十分対応可能です。前向きにご検討ください。

受け入れたい気持ちがあれば誰でもできます。教育旅行生の大半を占める都市圏の学生にとって、田舎の暮らしや土地・風景そのものが魅力の塊。そんな学生へ田舎の素晴らしさを伝えたい、教育旅行の受け入れに興味があるという人も多いかもしれません。しかし、「畑がないから農業体験ができない」「学生の送迎が不安」などの理由で受け入れを断念している人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

受入家庭を色々な面でサポートします

- 送迎サポート
自家用車がないなど学生の送迎が難しい場合は送迎のサポートを行います！
- 布団レンタル
宿泊用の布団がない場合はレンタル貸し出し可能です！
- 地元食材使用の手配
夕食などに使用する食材として豚肉の手配も行います。

≪ 5 ≫ 離村式



▲受け入れの最後は一同に集まり離村式を行います。たくさんの方の貴重な経験をした学生と涙のお別れです。

≪ 4 ≫ 団らん・語らい



▲収穫した野菜などを使って夕食を作り、受け入れ先の皆さんと一緒に夕食。天体観測や、なんこ大会なども人気。

≪ 3 ≫ 各種体験活動



▲各家庭で農業などを生徒と行い、農村の生活や仕事を体験。漁協を通じてのカンパチ餌やり体験などもあります。

≪ 2 ≫ 受入家庭へ到着



▲受入家庭の車で移動後に自己紹介。滞在中のスケジュールや部屋の案内など、滞在中の過ごし方について説明をします。

≪ 1 ≫ 入村式



▲修学旅行生を受け入れる入村式を行い、歓迎の握手で民泊がスタート。受入家庭も生徒もドキドキ

教育旅行の一日